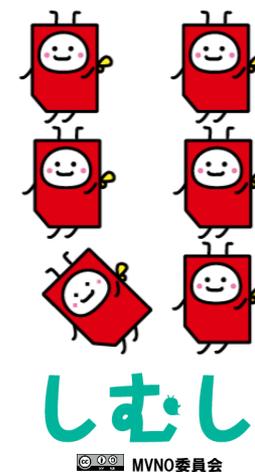


青少年の安心・安全なインターネット利用環境整備に関するタスクフォース（第7回）資料

フィルタリング提供に関してのMVNOの対応状況

2019年7月17日

テレコムサービス協会
MVNO委員会



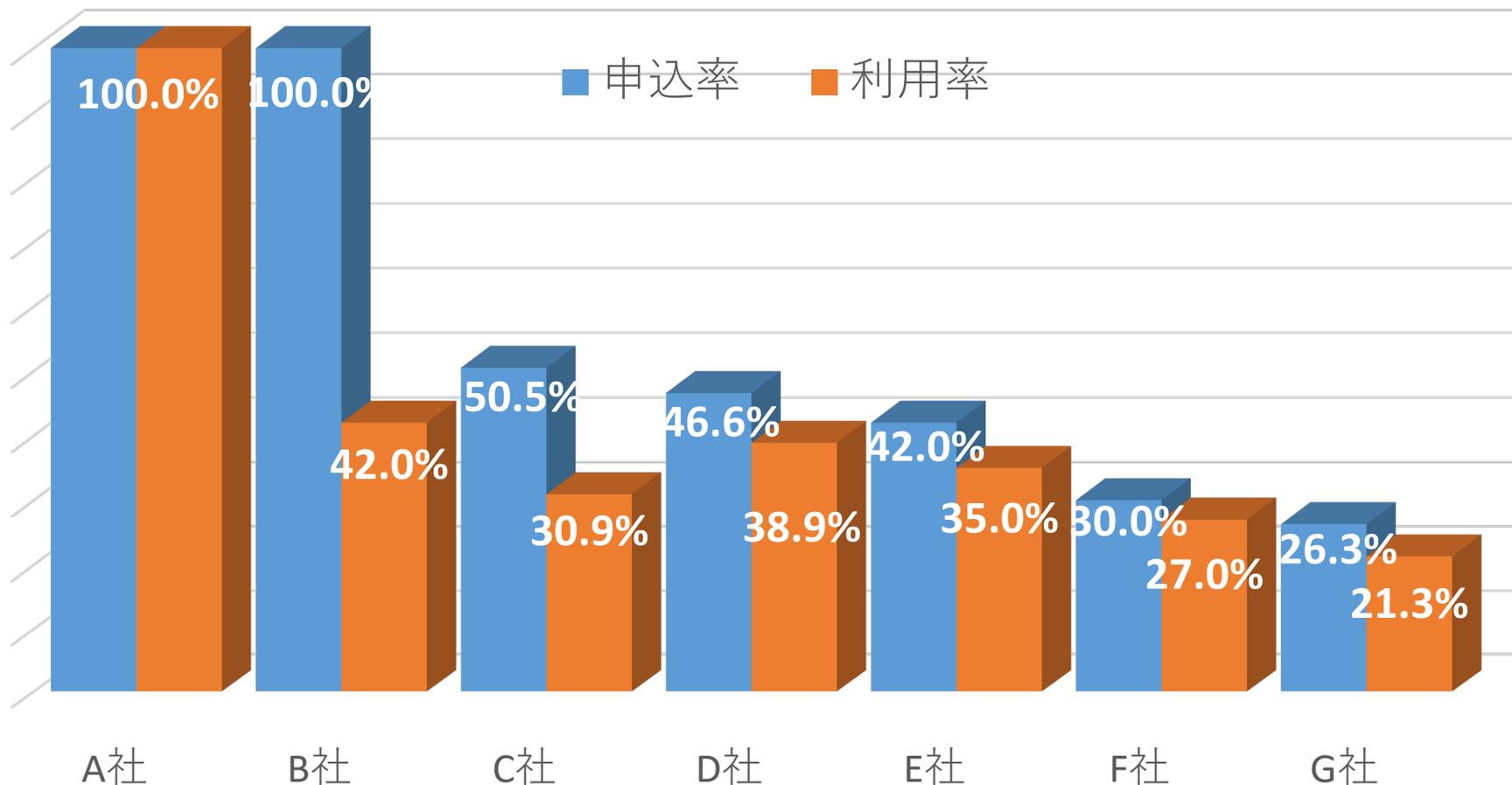
目次

1. MVNO各社のフィルタリングサービス提供状況について
2. フィルタリングサービス利用率向上に向けた取組み事例の紹介
3. フィルタリングサービス提供に関する課題について

1. MVNO各社のフィルタリングサービス提供状況 **について**

1. MVNO各社のフィルタリングサービス提供状況について

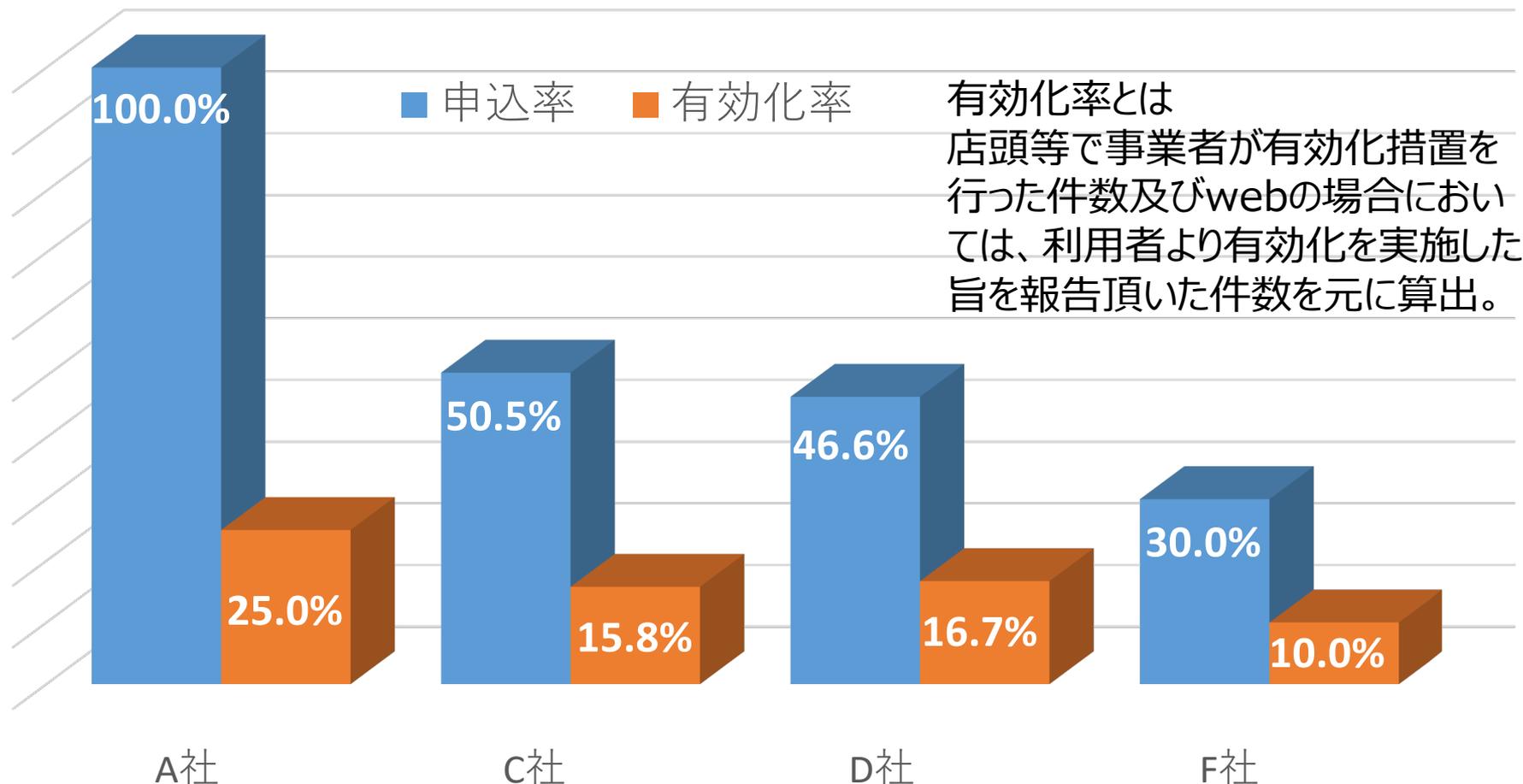
2019年3月度に青少年の利用者登録によりご契約いただいたご利用者のフィルタリングサービスの申込率及び5月末時点の利用率の状況



申込率 = フィルタリング申込数 ÷ 青少年利用者数
利用率 = フィルタリング利用数 ÷ 青少年利用者数

1. MVNO各社のフィルタリングサービス提供状況について

2019年3月度に青少年の利用者登録によりご契約いただいたご利用者のフィルタリングサービスの申込率及び有効化率の比較



$$\text{有効化率} = \text{有効化措置数} \div \text{青少年利用者数}$$

2. フィルタリングサービス利用率向上に向けた取り組み事例の紹介

2. フィルタリングサービス利用率向上に向けた取組み事例の紹介

申込率向上への取組み

- 青少年利用に関する**フィルタリングサービス加入を必須化**。
- 重要事項説明書類による説明に加え、内閣府作成のリーフレットを用いた説明を実施。
- 個社独自のリーフレットによる利用促進。



有効化措置率向上への取組み

- Web経由の契約の場合、有効化をなされないお客さまに対し、お申込から最大6か月間(月1回の頻度で最大6回/6か月)、有効化を促す案内の実施

3. フィルタリングサービス提供に関する課題について

3. フィルタリングサービス提供に関する課題について

保護者意識やサービス提供等についての問題

- 保護者が利用者登録を申告されていない場合もあり、「利用者を正しく登録いただくこと」自体の意義・必要性の理解度を上げる必要あり。
- 青少年におけるスマートフォン利用に関する課題が、ブラウザによる不適切コンテンツの閲覧に限らず、不適切なアプリの使用・ダウンロードや高額の課金、スマートフォン自体の使い過ぎなど分散化の傾向にあり、フィルタリングだけでは、青少年が安心して利用できるとは言い難い状況であると思われる。これらを踏まえ、青少年が安心して利用できる環境について、検証が必要ではないか。
- 店頭でのフィルタリングの有効化は、手続きの時間がかかることもあり、後日、利用者自身で設定されている場合が多く、また、web契約の場合は、利用者より有効化の申告を頂くだけであるため、実際のフィルタリングサービスがアクティブであり、機能しているかを、事業者では正確には把握できない。

3. フィルタリングサービス提供に関する課題について

デバイスおよびソフトウェアの課題

- 携帯電話サービスの提供形態が、ネットワークから端末・OS・コンテンツプラットフォームまでの垂直統合型から分業型へ変わっている中、通信事業者が中心に対応することに限界がある。端末メーカーやOSの制限でフィルタリング利用への対応が困難な事例（例：OSのバージョンアップによりフィルタリングが機能しなくなった）も発生している。
- 中古端末の普及が政策的にも推進されている中、中古端末販売事業者における責任がルール化されていない。

その他

- Googleの「ファミリーリンク」及びAppleの「スクリーンタイム」、端末固有のフィルタリング機能など、通信事業者提供ではない無償のサービスを希望され、ご利用される場合、通信事業者にて、ご利用状況の把握は出来ない。